

さいの神

実行委員長 小熊由紀夫

令和に元号が変わって初のさいの神、十一月十七日に準備を行いました。とば作り、細竹切り、孟宗竹伐採、葦を刈って束ねるなど、好天に恵まれて作業はスムーズに行われました。

当日も、好天に恵まれました。

昨年は、着火の段取りが悪く、一斉に点火できなかった反省から、今回は注意をはらい、資材の乾燥状態も相まって、見事な炎が舞い上がりました。

この行事は、草刈等により会場を綺麗にして頂いた姥ヶ山農地組合の方々、作業にご協力頂いた、役員並びに学校関係者、地域住民の皆様により成功いたしました。ご協力ありがとうございました。



窓



『「なにかわたしにでもできることはないか」』

清家直子さんは ある日考えた彼女は全身関節炎で もう十年以上寝たきり 医者から見放され 自分も自分を見捨てていた その清家さんがある日ふと そう考えたのである 彼女は天啓のように 点字のことを思いついた

彼女は左手の親指が少しきくだけで 点字を書くのが難しくても字が書けるようになり 一冊一冊と点訳書ができあがり 今では百冊を越える立派な点字本が 光を失った人たちに光を与えている

これは、坂村真民さんの詞から抜粋しました。

コロナウイルスの影響で世の中が変わりました。その中でも支援の輪は広がっています。佐渡出身の大学生らがメールやSNSで中高生の質問に答えるプロジェクトを企画し活動を始めました。全国でも飲食店の方が、子どもたちに少しでも笑顔になつてもらえたらと、無料で料理を提供し、それを知った方が自分出来る事として、お店の売上に協力しています。近所のコインランドリーを利用した時に、マスク一枚と一緒に心の込められた手紙が添えられていました。相手からの気持ちは、ずっと心に残ります。ステイホームの中でも「わたしにできること」を探して行きたいと思えます。(五十代主婦)

年度末・年度初めと自粛続きの連続で好きな旅行や飲み会さえもできない毎日である。皆さんも巣籠りで辟易としておられるのではないのでしょうか？

新型コロナでの政府の対策は全て後手後手であり、国民を本当に守る気はあるのかと思うのは私だけでしょか？ 習近平氏の来日やオリンピック開催の方を優先していたのでは？

春節前からの出入国管理・チャーター便帰国者の隔離・大型クルーズ船乗客等の下船の遅れ・PCR検査不足等……

そして突然打ち出した学校の一斉休業、中途半端で責任を取る覚悟の無い緊急事態宣言・アベノマスク、SNSの動画投稿・議事録を出さない専門家会議……

官邸や内閣府の取り巻き官僚はボクシングばかりなのか？ 危機的有事の状況下で、リーダーやその組織の人間性や資質が露見する。新卒の風邪でこの対応、この国を任せるに心配である。

以前も、この政府は三権分立を理解しているのかと投稿したが、このコロナ禍での検察庁法改正は世論の影響で今国会での成立を断念したようだ。姑息な手を使わず勝負(物事)は正々堂々と綺麗な手で勝つて貰いたいものだ。一度失った信用を取り戻すことは容易ではない。

終わりに最近覚えた新しい言葉を紹介したい。

「フプレス オブリージ」フプレスオブリージ「フランスの貴族社会の言葉で、高い地位(富裕層)に就いた者は、それに応じて果たさねばならぬ社会的責任と義務がある。(貧困層への富の分配・社会貢献活動等) 一体この日本にこの様な気概のある政治家や実業家は何人いるのだろうか? (O・S・M)



平素より、姥ヶ山自治会活動に對しご理解と、多大なるご協力いただき誠に有難うございます。新任各役員の方、又読者の方よりも寄稿していただき第八十三号発刊の運びとなりました。

又今回特別に寄稿していただきました、山鴻小学校小柳校長、桜が丘小学校藤澤校長、山鴻中学校小島校長の三氏に對し感謝申し上げます。姥ヶ山自治会と、地域学校との親密な関係構築に繋がることを確信しています。

これよりは、普段生活に於いて感じたことを書き留めておいた歌を詠ませて頂きます。一服の時を

倒れこみ 死んだふりする 玉葱が 大人になるには あたりめだがね 玉葱坊主

チャホヤの イケ面胡瓜を チラ見して 身なりはオメだが 味はオレだよ 曲り胡瓜

踏ん張るも すくつと抜けない 青首が チョイポチャ好きは いつへこと居るさ 白肌美女

こしあぶら セシウム怖さに 箸止まり 届かぬ声の 茶の間裁き 魚沼人

言わずにおけない野菜の独り言をまとめてみました。もし宜しければ次号にも。 K・J事務局